

指導員 歴史を紡ぐ仕事



指導員の仕事についての講義をする高橋豊子県連研修部長

第34回新指導員学校

県連協主催の第34回新指導員学校は6月2日に岩手県青少年会館で開かれ、県内の採用3年未満の新指導員65人が参加しました。講義やテーブルトークを通じて指導員として必要な基礎知識や心構えを学びました。

基礎知識、心構えを学ぶ

午前は嘉村祐之全国連協副会長を講師に「学童保育の歴史と最近の情勢」を学びました。先ごろ、指導員の配置基準（従うべき基準）を緩和する法案が国会を通

過したと、民間企業が営利目的で学童保育事業に参入していることなど情勢を説明。学童保育の歴史を振り返り「学童保育の歴史は保護者と指導員が1歩1歩積み重ねてきたもの。ゴールに辿りついたものではなく、いまも歴史の途上にある。指導員とは歴史を紡ぐ仕事」と語りました。

「指導員の仕事」の講義では、高橋豊子県連協研修部長が講師を務めました。学童保育で重要なこととして「自ら進んで」「主体的に」というポイントを挙げ、「自ら進んで学童保育に通い続ける。経験を通して子どもたちを成長させていくこと



岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みかげ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651

指導員テキスト 改訂版 発行

全国連協は、「改訂 テキスト 指導員の仕事」を発売しました。従来のテキストに「学童保育の安全対策・危機管理」

と「指導員倫理綱領（案）」が加わり、A4版でさらに見やすくなりました。定価千円。県連協で販売しています。

新指導員学校参加者感想

指導員としての道しるべが

盛岡市・第二緑が丘学童クラブ・栗林裕子 指導員

仕事をする上での基本的な考え方を教えていただいた。高橋豊子先生の「主体的に」「自ら進んで」「見通しをもって」という話を聞いて、そういうところを自分がしっかりと持っていけばブレないのではないかと感じた。仕事をする上での「道しるべ」になった。テーブルトークでは、みな同じような悩みを持っていることが分かって安心した。世話人の橋本有紀先生のアドバイスも身近な感じで親しみやすく、明日からがんばろうという気持ちになった。

学んだこと

保育に生かす

北上市・笠松学童保育所・本宮沙姫 指導員

この研修会に来なかったら分からないことがたくさんあった。「居心地のよい学童に、親子で信頼できる指導員の存在であること」という高橋豊子先生のお話が心に残った。実際に自分の学童や自分はどうなっているのかを考えさせられた。この研修で学んだことをこれからの保育に生かしていきたい。テーブルトークでは指導員の抱えている問題も似ていたし、指導員としてのキャリアが同じくらい人の中でリアクティブして話をすることができた。

自分に足りないこと気づく

大船渡市・キッズクラブいかわ・千葉元 指導員

他の学童の話聞いて、すごく新鮮だった。上級生が下の子どもたちに遊びを教える、伝承があるという話を聞いて、すごく良いな